

# Job

## Chapter 9

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וַיֹּאמֶר: אִיּוֹב וַיֵּעַן 1  
そして-言った ヨブは そして-答えた  
[H0559](#) [H0347](#)

ヨブは答えて言った、

עַם אֲנוֹשׁ יִצְרָק וּמַה־כֵּן יִדְעֵנִי אֲמַנָּם 2  
対して 人が 義と-されようか しかし-どうして そうだと それが 私は-知っている まことに  
[H0582](#) [H6663](#) [H4100](#) [H3045](#) [H0551](#)  
אֱלֹ: 神に  
[H0410](#)

「まことにわたしは、その事のそのとおりであることを知っている。しかし人はどうして神の前に正しくありえようか。

אֶלְפִי: מִנִּי־אֶחַת יְעַנְנִי לֹא־עִמּוֹ לְרִיב יִחַפֵּץ אִם־ 3  
一つも 千の-中の 一つも 答えられない 答えられない 彼と 争うことを 望むなら もし  
[H0505](#) [H0259](#) [H3808](#) [H7378](#)

よし彼と争おうとしても、千に一つも答えることができない。

אֲלִיוֹ הַקְּשָׁה מִי־כֹחַ וְאֲמִיץ לֵבִי חֵכֶם 4  
彼に-対して 強情を-張ったか 誰が 力において そして-強い 心において 知恵ある  
[H0413](#) [H7185](#) [H4310](#) [H0533](#) [H3824](#) [H2450](#)  
וַיִּשְׁלַם: そして-無事でいたか

彼は心賢く、力強くあられる。だれが彼にむかい、おのれをかたくなにして、栄えた者があるか。

בְּאֶפְסוֹ: הַפְּכֶם אֲשֶׁר יָדַעוּ וְלֹא הָרִים הַמַּעֲתִיק 5  
怒りの-中で 覆したかを どうして 知らない そして-それらは 山々を 動かす-方  
[H0639](#) [H2015](#) [H3045](#) [H3808](#) [H2022](#) [H6275](#)

彼は、山を移されるが、山は知らない。彼は怒りをもって、これらをくつがえされる。

יִתְפַּלְצֵוּן: יְעַמּוּדֶיהָ מִמְּקוֹמָהּ אֶרֶץ הַמְּרִיז 6  
震える そして-その-柱は その-場所から 地を 揺り動かす-方  
[H6426](#) [H5982](#) [H4725](#) [H0776](#) [H7264](#)

彼が、地を震い動かしてその所を離れさせられると、その柱はゆらぐ。

יִחַתָּם: כּוֹכְבִים וּבָעַד יִזְרַח וְלֹא לְחָרָס הָאֵמֶר 7  
封じる 星々を そして 昇らない そして-それは 太陽に 命じる-方  
[H2856](#) [H3556](#) [H1157](#) [H2224](#) [H3808](#) [H0559](#)

彼が日に命じられると、日は出ない。彼はまた星を閉じこめられる。

יָם: בְּמַתֵּי עַל־יְדוּדָה לְבַדּוֹ שָׁמַיִם נִטָּה 8  
海の 高波の の-上を そして-踏み行く ただ-独りで 天を 広げる-方  
[H3220](#) [H1116](#) [H1869](#) [H0905](#) [H8064](#) [H5186](#)

彼はただひとり天を張り、海の波を踏まれた。

תָּמַן : וְחָדְרֵי וְכִימָה כְּסִיל עֵשׂ עֲשֶׂה- 9  
南の そして-南の-星座を そして-プレアデスを オリオンを 北斗星を 造る-方  
[H8486](#) [H2315](#) [H3598](#) [H3685](#) [H5906](#)

彼は北斗、オリオン、プレアデスおよび南の密室を造られた。

אֵין עַד- וְנִפְלְאוֹת חֶקֶר אֵין עַד- גְּדֻלוֹת עֲשֶׂה 10  
ない 数え-切れない そして-不思議を 探究が ない 計り-知れない 大いなる-事を なさる-方  
[H0369](#) [H5704](#) [H6381](#) [H2714](#) [H0369](#) [H5704](#)

מוֹסָפָר :  
数が  
[H4557](#)

彼が大いなる事をされることは測りがたく、不思議な事をされることは数知れない。

וְלֹא- וַיַּחְלֶף אֲרָאָה וְלֹא אֵלַי יַעֲבֹר הֵן 11  
しかし-気づかない そして-過ぎ去る 見えない しかし-見えない 私の-そばを 通り過ぎる 見よ  
[H3808](#) [H2498](#) [H7200](#) [H3808](#) [H2005](#)

לֹא אֲבִין :  
彼に 気づかない  
[H0995](#)

見よ、彼がわたしのかたわらを通られても、わたしは彼を見ない。彼は進み行かれるが、わたしは彼を認めない。

תַּעֲשֶׂה : מַה- אֵלָיו יֹאמֶר מִי- יִשְׁבְּנוּ מִי יַחְתֹּף הֵן 12  
しているのかと 何を 彼に 言えようか 誰が 引き戻せようか 誰が 奪い取るなら 見よ  
[H4100](#) [H0413](#) [H0559](#) [H4310](#) [H7725](#) [H4310](#) [H2862](#) [H2005](#)

見よ、彼が奪い去られるのに、だれが彼をはばむことができるか。だれが彼にむかって『あなたは何をするのか』と言うことができるか。

עֲזָרִי שָׁחֹחוּ (תַּחְתּוֹן) תַּחְתּוֹן אַפּוֹ וְיָשִׁיב לֹא- אֱלֹהֵי 13  
助ける-者たちも かがんだ その-下に その-下に その-怒りを 取り消さない 取り消さない 神は  
[H5826](#) [H7817](#) [H8478](#) [H8478](#) [H0639](#) [H7725](#) [H3808](#) [H0433](#)

רַהֲב :  
ラハブの  
[H7293](#)

神はその怒りをやめられない。ラハブを助ける者どもは彼のもとにかがんだ。

עָמוּ : דְּבָרֵי אֲבַחְרָה אֲעַנְנוּ אֲנֹכִי כִי- אֶף 14  
彼に-対して 私の-言葉を 選ぶだろう 答えられようか 私が 私が ましてや  
[H1697](#) [H0977](#) [H0595](#) [H0637](#)

どうしてわたしは彼に答え、言葉を選んで、彼と議論することができよう。

אֶתְחַנֵּן : לְמִשְׁפָּטֵי אֲעַנֶּה לֹא אֶדְקָתִי אִם- אֲשֶׁר 15  
嘆願するだけだ 私の-裁き-主に 答えられない 答えられない 私が-正しくても もし たとえ  
[H8199](#) [H3808](#) [H6663](#)

たとえわたしは正しくても答えることができない。わたしを責められる者にあわれみを請わなければならない。

אֵין 16 אִם- קְרָאתִי וַיַּעֲנֵנִי לֹא- אֲאָמִין כִּי- יֹאזִין  
 耳を-傾けているとは それが 信じない 信じない そして-答えてくださっても 呼びかけて もし  
[H0238](#) [H0539](#) [H3808](#) [H7121](#)

קוֹלִי:  
 私の-声に

たといわたしが呼ばわり、彼がわたしに答えられても、わたしの声に耳を傾けられたとは信じない。

אֲשֶׁר- 17 בְּשַׁעֲרָה יְשׁוּפְנֵי וַהֲרַבְתָּ פְּצָעֵי חֲנָם:  
 なぜなら 嵐で 砕くのだ そして-増やした 私の-傷を 理由なく  
[H2600](#) [H6482](#) [H7779](#) [H8183](#)

彼は大風をもってわたしを撃ち砕き、ゆえなく、わたしに多くの傷を負わせ、

לֹא- 18 יִתְנֶנִּי הַשָּׁב רִוְחִי כִי יִשְׂבְּעֵנִי מִמְרָרִים:  
 許さない 私に 取り戻すことを 私の-息を なぜなら 満たすのだ 苦い-もので  
[H4472](#) [H7646](#) [H7307](#) [H725](#) [H5414](#) [H3808](#)

わたしに息をつかせず、苦い物をもってわたしを満たされる。

אִם- 19 לְכַח אֲמִיץ הִנֵּה וְאִם- לְמִשְׁפָּט מִי יוֹעִירֵנִי:  
 もし 力なら 強い 見よ もし 裁きなら 誰が 呼び出せようか  
[H3259](#) [H4310](#) [H4941](#) [H2009](#) [H0533](#)

力の争いであるならば、彼を見よ、さばきの事であるならば、だれが彼を呼び出すことができよう。

אִם- 20 אֶצְדַּק פִּי יִרְשִׁיעֵנִי תָם- אֲנִי וַיַּעֲקֹשְׁנִי:  
 たとえ 正しくても 私の-口が 罪ありとする 潔白であっても 私は 曲げられる  
[H6140](#) [H0589](#) [H8535](#) [H7561](#) [H6310](#) [H6663](#)

たといわたしは正しくても、わたしの口はわたしを罪ある者とする。たといわたしは罪がなくても、彼はわたしを曲つた者とする。

תָם- 21 אֲנִי לֹא- אֲדַע נַפְשִׁי אֲמַאֵס חַיִּי:  
 潔白であっても 私は 知らない 知らない 私の-魂を 嫌う 私の-命を  
[H5315](#) [H3045](#) [H3808](#) [H0589](#) [H8535](#)

わたしは罪がない、しかしわたしは自分を知らない。わたしは自分の命をいとう。

הוּא 22 אַחַת הִיא עַל- כֵּן אֲמַרְתִּי תָם יִרְשָׁע הוּא  
 彼は 一つの-ことだ それは 上- それゆえに それゆえに 私は-言う 潔白な-者も そして-悪しき-者も  
[H1931](#) [H7563](#) [H8535](#) [H0559](#) [H1931](#) [H0259](#)

מִכְלָה:  
 滅ぼす  
[H3615](#)

皆同一である。それゆえ、わたしは言う、『彼は罪のない者と、悪しき者とを共に滅ぼされるのだ』と。

אִם- 23 שׁוֹט יָמִית פְּתָאֵם לְמֹסֵת נִקְיִם יִלְעָנ:  
 もし 災いが 殺すなら 突然に 絶望に 罪なき-者の 嘲笑う  
[H3932](#) [H6597](#) [H4191](#) [H7752](#)

災がにわかにな人を殺すような事があると、彼は罪のない者の苦難をあざ笑われる。

לֹא אִם- יִכְסֶה שְׂפָטֶיהָ פָּנָי- רָשָׁע בְּיַד- נִתְּנָה אֶרֶץ 24  
 そうでないなら もし 覆う 裁き-主たちの 顔を 悪しき-者の 手に 渡された 地は  
[H3808](#) [H3680](#) [H8199](#) [H6440](#) [H7563](#) [H3027](#) [H5414](#) [H0776](#)

הוּא: מִי אֲפֹא  
 そうしたのか 誰が それなら  
[H1931](#) [H4310](#) [H0645](#)

世は悪人の手に渡されてある。彼はその裁判人の顔をおおわれる。もし彼でなければ、これはだれのしわざか。

טוֹבָה: רָאוּ לֹא- כָּרְחוּ רָץ מִנִּי- קָלוּ וַיָּמִי 25  
 幸いを 見なかった 見なかった 逃げ去った 走る-者より よりも 速い そして-私の-日々は  
[H7200](#) [H3808](#) [H1272](#) [H7323](#) [H7043](#) [H3117](#)

わたしの日は飛脚よりも速く、飛び去って幸を見ない。

אָכַל: עָלַי- יָטוּשׁ כְּנֹשֶׁר אָבֶה אֲנִיּוֹת עִם- חָלְפוּ 26  
 獲物の の-上に 襲う 鶺鴒-のように 葦の 舟の-ように とともに 過ぎ去った  
[H0400](#) [H2907](#) [H5404](#) [H0016](#) [H0591](#) [H2498](#)

これは走ること葦舟のごとく、えじきに襲いかかる、わしのようだ。

וְאֶבְלִינָה: פָּנַי אֶעֱזֹבָה שִׁחִי אֲשַׁכַּחְתָּ אֲמַרְי אִם- 27  
 そして-明るくしようと 私の-顔を 捨てようと 私の-嘆きを 忘れようと 私が-言うなら もし  
[H1082](#) [H6440](#) [H7879](#) [H7911](#) [H0559](#)

たといわたしは『わが嘆きを忘れ、憂い顔をかえて元気よくなるう』と言っても、

תִּנְקֵנִי: לֹא כִי- יָדַעְתִּי עֲצָבֹתַי כָּל- יִגְרָתִי 28  
 してくれないと 無罪とは まことに 知っている 私の-苦痛を すべての 恐れる  
[H5352](#) [H3808](#) [H3045](#) [H6094](#) [H3605](#) [H3025](#)

わたしはわがもろもろの苦しみを恐れる。あなたがわたしを罪なき者とされないことをわたしは知っているからだ。

אֵינֶנּוּ: הֲבַל יָהּ אֲרָשָׁע אֲנֹכִי 29  
 労するのか 空しく これほど なぜ 罪ありと-される 私は  
[H3021](#) [H1892](#) [H2088](#) [H4100](#) [H7561](#) [H0595](#)

わたしは罪ある者とされている。どうして、いたずらに労する必要があるか。

כַּפְי: בְּבַר יְהוָה וְהִזְכֹּתִי שֶׁלֶגַּ (בְּמַי-) [בְּמוֹ-] הִתְרַחַצְתִּי אִם- 30  
 私の-手を 灰汁で そして-清めたとしても 雪の 水で 水で 洗ったとしても たとえ  
[H3709](#) [H1253](#) [H2141](#) [H7950](#) [H4325](#) [H1119](#) [H7364](#)

たといわたしは雪で身を洗い、灰汁で手を清めても、

שְׁלֹמוֹתַי: וְהִעֲבֹנִי תִטְבְּלֵנִי בַשֶּׁחַת אֲזִ 31  
 私の-衣も そして-嫌悪するだろう 沈めるだろう 汚水の-中に その時  
[H8008](#) [H8581](#) [H2881](#) [H7845](#)

あなたはわたしを、みその中に投げ込まれるので、わたしの着物も、わたしをいとうようになる。

יַחְדָּו: נִבְּוא אֲעַנְנֶנּוּ כְּמִנִּי אִישׁ לֹא- כִי- 32  
 共に 共に-行こう 答えられるものではない 私の-ような 人ではない 人ではない なぜなら  
[H0935](#) [H3644](#) [H0376](#) [H3808](#)

בְּמִשְׁפָּט:   
 裁きの-場に  
[H4941](#)

神はわたしのように入ではないゆえ、わたしは彼に答えることができない。われわれは共にさばきに臨むことができない。

שְׁנֵינוּ:	עַל-	יָדוֹ	יָשֵׁת	מוֹכֵיחַ	בֵּינֵינוּ	יֵשׁ-	לֹא	33
我ら-両方の	の-上に	その-手を	置く-者が	仲裁人が	私たちの-間に	いない	いない	
<a href="#">H8147</a>		<a href="#">H3027</a>	<a href="#">H7896</a>	<a href="#">H3198</a>	<a href="#">H0996</a>	<a href="#">H3426</a>	<a href="#">H3863</a>	

われわれの間には、われわれふたりの上に手を置くべき仲裁者がいない。

תְּבַעַתְנִי:	אֶל-	וְאִמָּתוֹ	שִׁבְטוֹ	מֵעָלַי	יִסְרֶ	34
おびえさせるな	私を	そして-その-恐れが	その-杖を	私から	取り除いてくれ	
<a href="#">H1204</a>	<a href="#">H0408</a>	<a href="#">H0367</a>	<a href="#">H7626</a>		<a href="#">H5493</a>	

どうか彼がそのつえをわたしから取り離し、その怒りをもって、わたしを恐れさせられないように。

אֲנִי	כֵּן	לֹא-	כִּי	אִירָאֵנִי	וְלֹא	אֶדְבָּרָה	35
私は	そうではない	そうではない	しかし	恐れないだろう	そして-恐れしない	そうすれば-語ろう	
<a href="#">H0595</a>		<a href="#">H3808</a>		<a href="#">H3372</a>	<a href="#">H3808</a>	<a href="#">H1696</a>	

עַמּוּדִי:  
私自身の-内に  
[H5978](#)

そうすれば、わたしは語って、彼を恐れることはない。わたしはみずからそのような者ではないからだ。